

第1号議案

平成27年度の事業報告書

平成27年1月1日から平成27年12月31日まで

特定非営利活動法人 いのちの里京都村

1 事業の成果

法人設立4年目にあたり、法人としての組織基盤をさらに確立するため、引き続き法人の設立趣旨や活動内容について積極的な広報活動を行い、会員の拡大を目指した。

「いのちの里京都村マーク」（以下、マークとする）の認知度を上げるため、また、寄付つき商品のPRのため、行政等が主催する農林水産業に関するイベントへブース出展するとともに、農山村と都市部をつなぐ事業のコーディネート等を行った。

また、「いのちの里京都村応援基金」に集まった寄付金を活用し、公益財団法人京都地域創造基金と調整の上、地域再生活動団体への助成事業を進めている。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	事業費の金額 (単位：千円)
農村再生に関する地域活動等に対する支援の仲介および活動助成	「いのちの里京都村応援基金」を通じて行う、京都府内の農村再生活動に対する助成活動	(A) 通年 (B) 京都府内各地 (C) 2名	1,500千円
農村と都市の交流を促進するためのWebサイト運営事業	京都府内の農山村が日々行っている地域再生活動を掲載するwebサイトの更新	(A) 通年 (B) HP、Facebook上 (C) 2名	1,000千円
農村と都市の協働による農村再生活動の啓発・PR事業	「丹後うまいもんフェア」の運営サポート	(A) H27.4月 (B) イオン洛南店 (C) 5名	350千円
	「みどりいっぱいプロジェクト」への参加による京都村マークPR活動	(A) H26.4月 (B) 堺共生の森 (C) 2名	70千円
	「京都村エクスプレス」の運行による地産地消の推進及びPR活動	(A) H27.10月、11月、12月 (B) 明覚寺 (C) 3名	200千円
	「NTT西日本×環境CSRビジネス研修」開催による農山村ビジネスの啓発事業	(A) H27.5月 (B) 京丹後市奥大野 (C) 3名	130千円
	「丹後ツアーサポート事業」による地域の観光開発及びプログラムの作成	(A) H27.7月～ (B) 京丹後市奥大野 (C) 5名	330千円

	「大原プロモーション事業」による地域のPR開発事業	(A) H27. 10月 (B) 福知山市大原 (C) 3名	300千円
	「美しい農村再生支援事業」による地域のブランディング開発およびPR事業	(A) H26. 10 (B) 福知山市毛原 (C) 5名	750千円
農村と都市の協働による農村再生を促進するための認証マークの管理運営事業	本法人の活動趣旨に賛同する企業等の商品に対して「いのちの里京都村マーク」を貼付し、活動を普及	(A) 通年 (B) 京都府内各地 (C) —	150千円
農村と都市(主に企業)のお互いの利益に資するビジネスマッチングを支援するためのコーディネート事業	地域マネジメント組織等が取り組む新たな地域づくり(ビジネス)の支援	(A) 通年 (B) 京都府内各地 (C) —	1,500千円

(2) その他の事業

当該事業年度は実施しなかった。

(備考)

- 1 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 2 2(2)には、定款上「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載する。